

HCDアワード ベストプラクティス推薦書

*は記入必須事項です

事例名*	いずれかを削除*	記入者氏名*	記入日*
シャープにおけるユーザー中心設計のための人材育成	自薦	佃 五月	2014年 11月 20日
<p>推薦理由*： HCD活動として優れている点、今後のご自身の活動において参考になる点などを記述して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業でのUCD活性化のための推進事例として、人材育成の取組み内容について社外公開。 研修カリキュラムは3つのレベル（初級/中級/上級）を設けて実施。 更なるスキル向上やモチベーション維持のために、上級有資格者の選抜メンバーで構成されたユーザビリティ向上委員会も発足。 初級研修（eラーニング）は、特定事業本部/2年次の全社員を対象として任意受講にて実施。 UCDの基礎を社内で幅広く知ってもらうことで、UCDに対する意識/風土づくりを狙っている。 		<p>ISO9241-210で規定するプロセスの特定*： 5つのサブプロセスの中で該当する部分を特定し 活動の詳細をご記述く</p> <p>■カリキュラム構成は、5つのサブプロセスを全て網羅</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 初級) HCDの定義、重要性、実施事例等の基礎を習得 中級) ユーザビリティ評価/テストを重点的に習得 上級) HCD実践のためのスキルアップ (専門性の高いテーマを随時設定) 	
<p>最終成果物の概要*： 概要を説明し 成果物を示す画像を貼ってください。ウェブページの場合はURLを明記して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 初級研修（eラーニング）の修了率は、任意受講にも関わらず8割強へと向上してきている。 各受講修了後のアンケート結果も好評(例：初級では内容の良さ/理解度共に約9割が良い評価)。 2006年（上級研修スタート）から2010年までに、社内でのユーザー中心設計の取組み件数は約2.5倍に増加。その他、取組んだ個別商品では、使い方相談件数の削減やユーザー満足度向上等の効果も確認されてきている。 <p>【参考文献】</p> <ol style="list-style-type: none"> 佃五月, シャープにおけるユーザー中心設計のための人材育成, 8-12, 人間中心設計推進機構・機構誌2011第7巻 第1号, 2012 HCDライブラリー委員会, HCDライブラリー第3巻 人間中心設計の国内事例, 35-44, 近代科学社, 2014 佃 五月, 家電メーカーにおけるUCDのための人材育成, 第11回 デザイン人間工学報告会, 2014 		<p>専門家としての評価*：評価するポイントやできれば、表彰による波及効果などをご記述ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> HCD取組みを拡大していくためには、個々のスキル向上だけでなく、ユーザビリティを向上させようとする意識/マインドや、開発に関わる組織/メンバーの理解も必要不可欠。本内容は企業での人材育成の事例として業界全体の取組み発展に貢献できる可能性がある。 社内でも、表彰のフィードバックにより更なるモチベーション向上が期待でき、更なるよいモノづくりが期待できる。 <p>同意事項*： ご推薦いただいた事例は、推薦者名と共に、HCD-Net内で公開いたします。公開の可否について、以下のいずれかを○で囲んでください。</p>	
<p>受付番号：05</p>		<p>承諾する</p>	

事例名*	参考資料：以下の欄内に添付してください。画像は合計1GB以内にしてください。
シャープにおけるユーザー中心設計のための人材育成	(必須) 本申請に記載されたプラクティスの成果物(製品やウェブサイトなど)の画像。 (任意) 本申請に記載されたプラクティス事例が紹介されている新聞・雑誌・ウェブページの記事や論文など。
<p>【参考文献】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 佃五月, シャープにおけるユーザー中心設計のための人材育成, 8-12, 人間中心設計推進機構・機構誌2011第7巻 第1号, 20122. HCDライブラリー委員会, HCDライブラリー第3巻 人間中心設計の国内事例, 35-44, 近代科学社, 20143. 佃 五月, 家電メーカーにおけるUCDのための人材育成, 第11回 デザイン人間工学報告会, 2014	
受付番号 : 05	